



高等部

たくましく生きる生徒

【 高等部教育目標 】

卒業後の社会生活を送る上での生活力を確立し、自分の役割や働く意義を理解して、たくましく生きる生徒を育てる。

自立と社会参加を目指して周囲の人との関わりを大切にしながら、自分で生活する力や生活を楽しむ力の育成に努めています。

また、生活単元学習や作業学習、就業・施設体験を通して、将来の社会生活や職業生活に必要な力を育てています。

一般就労を目指す生徒に対して、より細やかな職業教育を行うために、2年生から知的障害課程に職業コース（A1課程）を設け、より実践的な学習を行っています。



体育の授業（剣道）



生活単元学習



作業学習（農芸班）



作業学習（紙工班）



総合的な探究の時間



職業コース（介護）



作業学習（木工班）



作業学習（窯業班）

設置課程

知的障害	A1 課程	通常の学級（職業コース）
	A2 課程	通常の学級（普通コース）
	B 課程	重複障害学級
	C 課程	訪問教育学級
肢体不自由	D 課程	通常の学級
	E1 課程	重複障害学級（知的代替）
	E2 課程	重複障害学級
	F 課程	訪問教育学級

詳しい活動の様子は「高等部トピックス」を見てね！



進路のまなび

就業・施設体験

将来の生活や就労につなぐため、中学部3年生と高等部1～3学年の生徒を対象に、「就業・施設体験」を行っています。

様々な学習を通して身に付けたものを生かして、実際の施設や企業での体験を行います。体験を通して自己理解を深めるとともに、自分に合った進路を選択・決定できるように取り組んでいます。

高等部は、6月の前期就業・施設体験、11月の後期就業・施設体験を計画しており、高等部の3年間で、計5回の就業・施設体験を経験します。



卒業後の支援

◇アフターケア

前年度の卒業生の移行の状況を確認し、適宜、進路先の訪問などを行っています。

◇同窓会

同窓会総会や学校行事の参加、新年会や成人祝賀会を実施し、卒業後の社会生活がスムーズに移行できるように支援しています。



職場社会見学

将来の働く生活についてイメージを持てるように、各学年や作業班で「職場社会見学」を行っています。佐賀県内の一般企業、A型事業所、B型事業所などを見学し、説明を聞いたり質問をしたりします。

作業学習で身につけたい力や自分の改善点に気づくことができ、良い学習の機会になっています。



進路先（高等部生）

種別	年度（人数）	令和6年度 （23名）	令和7年度 （22名）
進学		0	0
一般企業		5	5
就労移行支援		1	0
就労継続支援A型		4	1
就労継続支援B型		7	10
生活介護（通所）		4	3
障害者支援施設（入所）		1	2
その他		1	1